学　年	教　科	科目名	教科書名	単位数
高１	地歴	歴史総合	私たちの歴史総合（清水書院）	2

１．授業のねらい

① 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目指して，近現代史を中心とする歴史を，わが国の歴史と関連付けながら理解し，人類の課題を多角的に考察する。

② 諸資料に基づき，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら，現代の諸課題を考察する。

③ 現代世界の特質と展開過程を日本との関わりに着目しながら理解し，人類の課題について歴史的観点から考察するための基礎知識獲得を目指す。

２．授業のすすめ方

教科書，プリント等を使用しながら，学習課題について解説します。その上で，各テーマに沿った設問の考察・探求を中心に理解を深めていきます。

３．学習上の留意点

① 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが，教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが，歴史事象の背景を理解することによって，歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。

② 歴史（過去）を学ぶことによって，現在の問題（課題）を考え，未来（解答）を導き出す学問です。常に「なぜ」の問いかけを持つようにしてください。

③ 教科書をよく読んで，歴史の流れをつかむようにこころがけてください。

④ 歴史書（教科書）は様々な資料・史料をもとにして，書き上げられています。歴史を理解するためには史料の読解は欠くことができません。授業中には適宜，史料集を用いて，史料の読解力を身に付けることをめざします。

４．副教材・参考文献

副教材は適宜プリント等を配布・配信します。

５．評価の視点・テスト・課題等

① 定期考査５回（１００点×５）・平常点（1学期２０点＋２学期２０点＋３学期１０点）

② 平常点は授業中の態度・課題の提出状況を中心につけます。積極的に授業に参加する姿勢，発問に対する回答状況等を評価します。

③ 定期考査，平常点等を基に「知識・技能」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」の３観点について学年末に評価します。

６．定期考査

定期考査は授業内容から主に出題します。毎回の授業に集中し，教科書をしっかり読んでください。

７．授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	第１編　歴史の扉 第２編　近代化と私たち 第１章　生活や社会の変化を読み取ってみよう 第２章　結びつく世界と日本 １．18 世紀までの世界 ２．工業化と世界市場の形成 第３章　国民国家と明治維新 １．国民国家と立憲体制 ２．帝国主義とアジア，アフリカの変容 第４章　近代化と現代的な諸問題	中間考査 授業姿勢 期末考査	産業社会と国民国家の形成に伴う人々の生活や社会の在り方の変容について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えて考察することで，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。
二学期	9 10 11 12	第３編　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第１章　生活や社会の変化を読み取ってみよう 第２章　第一次世界大戦と大衆社会 １．第一次世界大戦と国際社会 ２．1920 年代の世界と大衆の時代の到来 第３章　経済危機と第二次世界大戦 １．国際協調の挫折と 2 度目の世界大戦 ２．世界大戦がもたらしたもの 第４編　グローバル化と私たち 第１章　生活や社会の変化を読み取ってみよう 第２章　冷戦と世界経済 １．冷戦と国際政治	（基礎学力到達度テスト） 授業姿勢 期末考査	国家間の関係性の変化や個人・集団の社会参加の拡大に伴う人々の生活や社会の在り方の変容について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えて考察することで，現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 科学技術の革新による人や商品などの一層の流動化に伴う人々の生活や社会の在り方の変容について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉
三学期	1 2 3	２．世界経済の拡大と日本 第３章　世界秩序の変容と日本 １．市場経済の変容と冷戦の終結 ２．冷戦終結後の世界 第４章　現代的な諸課題の形成と展望	期末考査	えて考察することで，現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を理解するとともに，考察・探究することで現代的な諸課題を理解する。

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。